

(令和5)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

(中山)児童館

	活動の基本目標(指針)	主な取組名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	手洗い・うがいの励行(アルコール消毒) 帰宅時の安全指導	石鹼で指先までしっかりと洗う習慣を図りたい。おやつ前にはアルコール消毒を継続する。 トイレの後の手洗い・手拭きが不十分で、スリッパの整理整頓と合わせて定着を図っていきたい。 帰宅ルートごとにグループで整列し自宅まで帰る約束とともに、横断歩道は職員が付き添い見守っている。 「ただいま」「さようなら」の挨拶が職員からではなく気持ちよく自分たちからできるようにしていきたい。 コロナ禍の習慣が定着したようで、おやつや昼食時に黙って行儀よく食べる習慣がついてきている。 子どもたちが楽しく、友達と仲良く過ごせるよう帰館時や長期休業中などは心と体の調子確認に努めた。 一人一人の子どもの状態を意識して見ることで体調やその子の思いなどを受け止めやすくなった。 けんかやトラブル、怪我などの困った時の職員への相談・報告を意識付けるように努めた。また、トラブルが起きた際は当事者同士で話し合って解決するように言葉かけしてきたが、感情的になり収まりにくい場合もある。
	健康の管理・情緒の安定	帰館時の体調確認 子ども自らからの問題解決力の育成	
	基本的生活習慣の確立	挨拶の励行 学童クラブの約束を守ることの指導 学習の習慣(下校後の宿題)	「ただいま」「ありがとう」等、挨拶については多くの子どもができるようになった。言葉遣いについても指導してきたが、思うように良くならない。友達が傷つくような声かけや言葉遣いはしないよう今後も徹底して指導していく。 学校から帰ってきたらすぐに宿題をするよう指導しているが、集中力に欠け時間ばかりかかる児童もいる。 「走らない」「物を投げない」「人の話を聞く」などあたり前のルールを守らせようとしているが徹底できない。 ケガをせず安心安全に過ごせるために厳しく指導を続ける必要がある。相変わらず調子に乗り怪我をすることが多い。 トラブルには話し合いなどして考える場を増やすとともに行事等を主体的に計画・運営する機会を設けている。
	社会生活技術の獲得	子ども同士の優しい声掛けと各自のけじめ	
子ども育成機能	生活体験の拡大	お誕生日会 館外活動<演劇観賞：風の子関西タックル> 館外活動<ボーリング大会：上賀茂MK> お別れ遠足<明治製菓工場・大阪科学技術館>	中・高学年が司会をして進めるることは自信につながるよい経験である。ケーキを静かに食べることはできている。 みんなが楽しめるお誕生日会となるよう子どもたちが主体的・自動的に運営できる内容も充実し定着してきた。 夏休みを利用して文化的な内容と安全に配慮したスポーツを検討して実施したが、子どもたちの満足感が感じられた。 登録人数が減少し観光バスの料金などが高騰しているので他府県へのお出かけを企画したいが交通費の捻出が厳しい。
	社会性の養成	エコ活動 避難訓練 集団遊び	エコクイズ・エコ工作など、徐々に関心が高まってきており、家庭に帰ってからも実践ができるようにしたい。 物を大事にすることやもったいないという意識を高めることが必要である。物を大切にする意識を高めたい。 自分の命は自分で守るという視点から正しい判断をして避難することを考える機会となった。(突然の訓練も有効) 警察署職員・消防署職員に来ていただき、緊張感をもった取組は子どもにも職員にも有意義だった。 遊びを計画して全員で楽しむことで仲間意識を高めている。応援したり励ましたりする姿は優しさが見えほほえましい。
	自立の促進と自主性の尊重	クリスマス会 お別れ会 当番活動	自分がしたい出し物を考えて練習をして本番を迎える経験は自主性を育てる経験となっている。 年度末の締めくくりとして想い出写真を見ながら成長を振り返ることができる。 日替わりの当番を決め、おやつ当番・机清掃・お帰りの会進行などを毎日繰り返し経験を積ませることで、自主的に活動する力を身についてきている。時間に対してけじめがつけられると更によい。
	子育てに必要な情報の提供と交換	新1年生学童クラブ説明会 保護者個人懇談会 連絡帳、お迎え時の個別相談、電話連絡	子どものことで気になることがあれば、来館されたり電話やメールで質問されたりすることで、早急の対応を目指す。 連絡帳で気になることを伝え、おいで来館する保護者には面談して日々の様子を伝えると共に子育て相談に応じて連絡事項を伝達してきた。家の様子・学校の様子とは違い、児童館では伸び伸びしていることが多い。
	子育ての仲間づくり	じどうかんだより がくどうクラブだより 誕生日カード	月1回発行するおたよりで、児童館の行事や学童クラブの取組をお知らせし、理解を深めている。 今後も電話や色々な機会を通じて子育てに必要な情報の提供と意見交換に取り組んでいく。 がくどうクラブだよりを保護者にしっかり見ていただいて提出物の期限なども守っていただくようにしていきたい。
子育て支援機能	子育てを支えるネットワーク形成	学校行事への参観 学校教員との情報交換 (年3回定期会の位置付け)	授業参観への参加で、本来の頑張っている子どもたちの様子を見ることもできた。 教務部の先生と気になる子どもたちについて情報交換会をもつたことは有意義だった。 今後協力・連携を密にして、情報の学校の協力を得て機会を作っていく。

(令和5)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

(中山)児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人			
(1) 生活援助機能															
手洗い・アルコール消毒の励行	毎日														
帰館時の体調確認	毎日														
挨拶の励行	毎日														
(2) 子ども育成機能															
新入生歓迎会	1	3	12	5		5	1						26	出し物 みんなのやくそく	
お誕生日会(奇数月)	6	20	58	23		11	7						119	出し物 ケーキ	
オニムであそぼう(代休日)	1	1	3	1		1	1						7	インストラクターによる実演	
わかばまつり	1	1	1										2	地域のまつり	
館外活動(夏休み)	1	3	7	3		2	1						16	演劇鑑賞(東部文化会館 かぜのこ関西:タックンとおりがみおじさん)	
館外活動(夏休み)	1	4	10	5		3	3						25	ボーリング(上賀茂MK)	
やんちやワールド	1	1	3	1		1		7					13	第4ブロック事業(橘大学)	
醍醐西こどもまつり	1	1	2										3	基幹ステーション事業	
お別れ遠足	1	3	7	5		1	1						17	明治製菓工場・大阪科学技術館	
お別れ会	1	2	9	5		6	3					5	30	出し物 抽選会 思い出ビデオ おやつ会食	
(3) 子育て支援機能															
児童館だより・がくどうだより	毎月1回														
連絡帳・お迎え時の個別相談	随時														
醍醐西小学校との連携	随時														
館小連絡会(醍醐西小学校)	3														
館保連絡会(中山保育園)	1														
														情報交換会 新1年生情報交換会	

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること